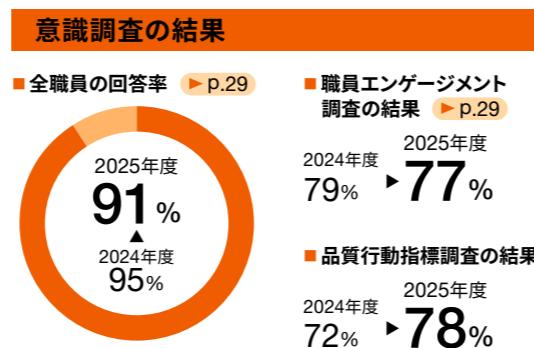
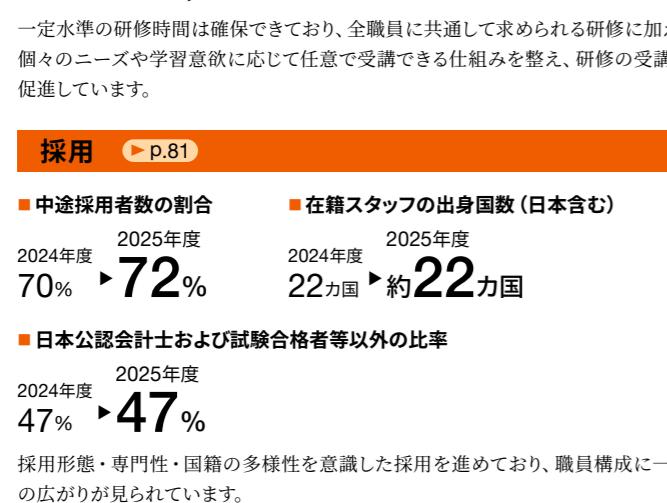
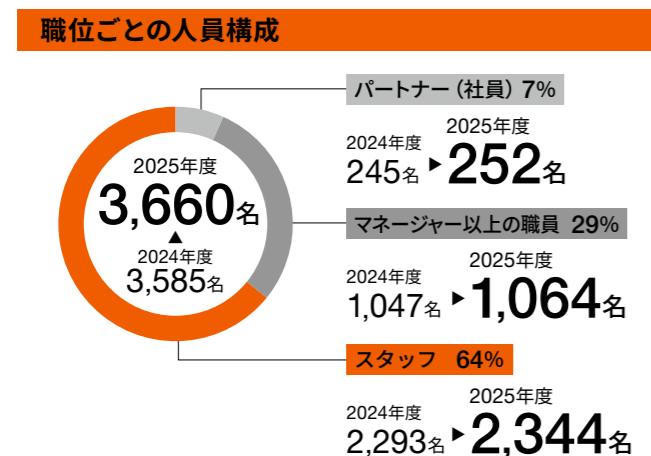


2025年度監査品質指標

当法人は監査品質見える化するための取り組みとして監査品質指標 (AQI : Audit Quality Indicators) を設定し、この数値をモニタリングして、必要な改善活動を実施しています。

監査業務は、カルチャーの醸成、ガバナンス、品質管理活動、テクノロジーの活用などのさまざまな要素を組み合わせたプロセスを経て、監査報告書の発行に至ります。本図表で開示しているAQIは、QMSE [p.53](#) という私たちの品質管理のフレームワークに基づき設定した指標のうち、開示すべきであると判断した指標であり、日本公認会計士協会「監査品質の指標に関する研究報告」を網羅しています。さらに、PwCネットワークにおける開示動向も踏まえ、ESGに関する開示など段階的に拡充しています。

人財



回答率、職員エンゲージメント調査の結果、品質行動指標調査の結果は目標値を達成し、引き続き高い水準を維持しています。

インクルージョン&ダイバーシティ



女性パートナーや管理職の育成に向けた取り組みにより一定の成果が見られましたが、さらなる進展に向けて継続的な取り組みが求められます。



男性の育児休業取得率は実質的に100%に達しており、十分な育児休業期間を確保するための取り組みを進めています。男女の賃金比率も一定水準を維持し、均衡の取れた職場環境の実現に努めています。



当法人では海外赴任経験者が一定数在籍しており、国際業務における高い対応力を維持しています。

監査品質を支える取り組み

職業倫理・独立性



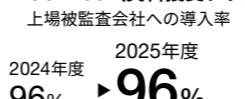
法令違反は全て個人の金銭的利害関係によるものであり、監査業務や法人の客觀性・公平性には影響を与えていないことを確認しています。

テクノロジーの活用

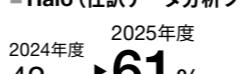
Aura(電子監査調書システム)導入率



Connect(資料授受プラットフォーム)導入率



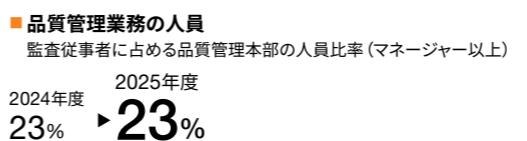
Halo(仕訳データ分析ツール)の導入率



次世代監査プラットフォームの利用にはHaloの導入が必要となるため、全被監査会社での導入率向上に向けた取り組みを進めた結果、導入率は大幅に向上しました。今後は未導入の被監査会社への導入に向けて、取り組みを加速していきます。

品質管理本部によるサポートおよびモニタリング

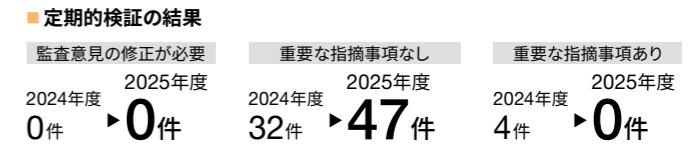
品質管理本部のサポート体制整備



監査従事者に占める品質管理本部の人員比率(マネージャー以上)

監査品質の検証

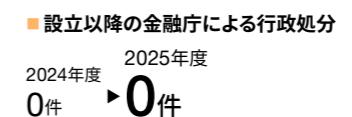
定期的検証



レビューの稼働時間



外部検査による処分



未来への投資

PwC Japanグループとしてのテクノロジーへの投資金額



デジタル研修受講完了率



■ サステナビリティ基礎研修完了者数
2024年度 1,878名
2025年度 2,031名